



TOP > 新製品 > DIMEスコープ > 居眠り運転を防止するスマホのアプリ

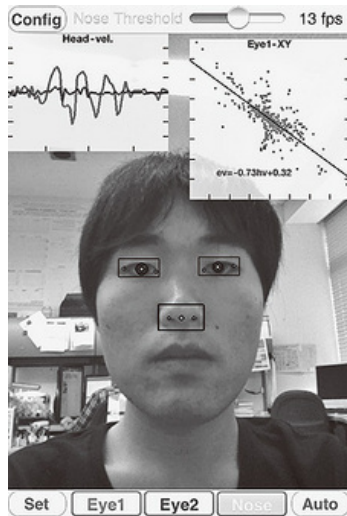
DIMEスコープ

新製品

2012.01.11

居眠り運転を防止するスマホのアプリ

担当：DIME編集部



瞳の位置で目の動きを、頭の動きは鼻の位置で検出。最初に両目と鼻の位置を指定すれば横を向いても顔認識機能を使い、目と鼻の位置を再度自動検出する。

居眠り運転を防止するための新たなソフトの研究が進んでいる。ドライバーの眼球の動きから眠気を察知し、未然に警告音を出すというものだ。

研究に取り組むのは中部大学の平田豊教授グループ。「ヒトには頭が動いても、眼球の動きを調節し、見ているものがブレないようにする前庭動眼反射（VOR）と呼ばれる能力が備わっています。実験の結果、ヒトは眠くなるとうVORが鈍くなり、頭が動いても目があまり動かないことがわかりました。また、VORが鈍くなる初期段階では、ヒトが眠気を自覚していないことも判明しています」（平田教授）

VORの変化をウオッチし続けられれば、ヒトの眠気を事前に察知できるのだ。平田教授が眼球の動きを捉えるツールとして目をつけたのが、スマートフォン。「VORを評価するには、頭と目の動きを測定することが必要。そこで『iPhone』に内蔵されたセンサーとカメラで、ドライバーの頭と目の動きを検出することにしました。眠気の予兆を検知したら、『iPhone』に内蔵された音楽を流して覚醒を促します。Android端末はセンサーの特性が機種ごとに違うので、その問題がクリアできれば、同じ仕組みのソフトが作れると思います」（平田教授）

現在、同技術は日本を含む8か国で特許審査中だ。クルマにあらかじめ搭載できるような仕組みも考案中という。

平田教授は「あらゆる顔に対応できるように研究を重ねています。どのような刺激を与えれば効果的に覚醒が維持できるかも検討中で、利用者が不快にならないような刺激を考案したい」と話している。

●ダイムの読み

長距離を運転するドライバーはもちろん、帰省ラッシュなど渋滞に巻き込まれた時に活用できるのがうれしい。将来的にカーナビ内蔵の機能として登場すれば、スマホユーザーでなくても利用できるはずだ。また、PCとウェブカメラで使えるようになれば、仕事や勉強中の居眠りを防止することもできそうだ。

取材・文／西川由美子

【関連記事】

・ [あなたはスマホによって四六時中監視されている！ キャリアIQ騒動 その1](#) (2012.01.14)



[プライバシーゼロ社会ついに到来。ネットに自由はなし！ キャリアIQ騒動 その2](#)

[次世代トレンドのキモは「眠と退屈」かも？](#)

[訳者が語る「スティーブ・ジョブズ本」の読みどころ](#)

[貴重なレコードやカセットの音源をCD化するレコーダー](#)

[理科系オタク脳で、料理をアップグレード！](#)

[1位も2位も48。2011年週刊誌の表紙登場タレントランキング](#)

[受付嬢が判断！ モテるサラリーマンの条件ベスト10](#)

[日本人が英語ができないのは政府の陰謀。あなたはわざと英語嫌いにさせられている！](#)

[パソコン遍歴で、あなたの浮気度がわかる!?](#)

[USB DACでPCの音質向上計画](#)

[日産自動車が開発した「ペダル踏み間違い事故防止技術」](#)

[急逝が惜しまれる唯一無二のシンガー](#)

[20代のビジネスマンが言われてうれしい言葉ベスト5](#)

[グーグルはなんでも知っている！ 公開された「Think Insights」に仰天！](#)

[食べログの得点3.7以上のお店はなぜ旨いのか？](#)

[合コンで女子ウケNo.1のスマホは何？](#)

設置例



ダッシュボードにスマホを設置して測定。

検索